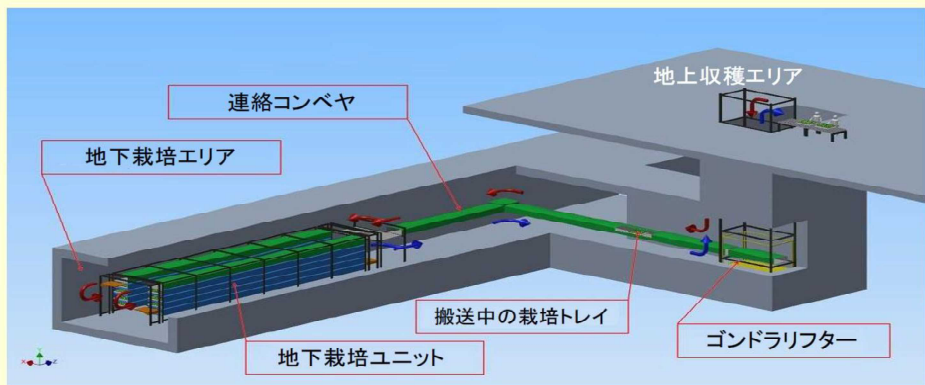


発表タイトル：地下共同溝の有効活用 習志野ファーム「vechica ベチカ」

要旨

千葉県が習志野市の幕張新都心計画のライフライン用として1995年に、全長3.1km・地下10mの地下共同溝を建設しておりました。その有効活用として、植物工場（レタス栽培）の実証試験施設として、習志野ファーム『vechica（ベチカ）』を立上げました。地下空間を有効活用した自動搬送システムの植物工場をご紹介します。

習志野ファーム「ベチカ」の特長



- ①地上⇒地下栽培工程⇒地上までの工程は全自動で行ない、地下作業が一切ない無人化を実現しています。
- ②共同溝は地下10mの位置にあり、年間を通じて気温が20°前後と安定しているため植物栽培に向いています。従って、冷暖房用大型空調設備の必要がなく空調のための電力費が削減できます。
- ③これまで、ベビーリーフ・ハーブ・エディブルフラワー、キノコ類等の高付加価値植物の栽培実証実験を展開しています。

習志野ファームvechica「ベチカ」

2017年12月に植物工場（レタス栽培）の実証試験施設として立上げ栽培条件や栽培品種を検証し、自動化システムの改善を加えながら順調に生産しています。



習志野ファーム「ベチカ」の取組み

人工光型植物工場であるベチカで栽培された、衛生的で新鮮なレタスの付加価値を、直接、消費者に訴求する取組みを行っています。また、2018年以降、数多くのTV番組で取り上げられています。

【ダイレクトマーケティングの取組み】

- ベチカでの水耕栽培は、大阪公立大学の養液処方に準じて栽培し、甘く、えぐみの少ないレタスができています。
- ベチカで直売所（週1回）を設けて、直接、消費者の皆様へ販売しています。
- （お客様の声）わざわざレタスだけを買いに来られる方もいます。
- シャキシャキした食感がよい。
- 冷蔵庫で1週間入れていたけど本当にそのまま美味しかった。
- 根元まで食べられるからゴミが少なくて助かる。

→植物工場野菜の付加価値、良さを
上げています。

【TV放映】

2018年5月	テレビ朝日ソノサキ
2019年6月	BS TV東京
2019年11月	TBS Nスタ
2019年11月	ABC 羽鳥真一 モーニングショー
2020年8月	NHK 所さん大変ですよ
2021年6月	TV東京未来レンズ
2021年7月	NHK 新日本風土記
2021年8月	ちばコレchannel
2022年6月	日本テレ news_every